

寺院紹介

・一念寺

去る九月二十五日、恒例の仏教婦人会による秋季彼岸会をお勤めしました。お勤めの後、住職の法話と仏教会長からは島上南組の仏婦活動の報告がありました。その後皆さんは和やかに雑談されていました。春季も同様に彼岸会を行っています。当寺では十月に在家報恩講と六條講報恩講の二つの法要があります。

お参りする垣内を北、中、南の3つに分けてお勤めをしています。大切な行事である二つの報恩講が永遠に続くよう願っています。



2015.09.2

・善立寺

当山の年間行事は色々ありますが、その中でも一番の大事業を記してみます。

旧大塚村は、百二十軒ほどで、全て浄土真宗の門徒でした。現在では西應寺門徒と善立寺門徒が半々位となっています。大正末期頃から大塚村の小字ごとに十のグループ（垣内）を結成して年番で幹事役の当家を決め同行報恩講としてお勤めする様になりました。それが今も続いていて西應寺・善立寺の共同行事の様に一緒にお参りお勤めしています。当日は垣内の各家を一軒ずつ廻って正信偈草譜をお勤めし、最後に当家で正信偈六首引をお勤めのこと文章拝読、法話をしてお斎を全員でいただきます。昔から今も続く旧大塚村の独自の家庭の報恩講です。



総代会より

総代会副会長 佐々木敏雄

二〇一一年（平成二十三年）年度から実施の事業として組内寺院報恩講参拝を行いました。

毎年順番に五ヶ寺ずつの報恩講に他の寺院の総代が三ヶ寺ずつ班編成してお参りし報恩講の勤修内容の見学や総代間の交流を深めるのに役立っています。

写真は十二月に善立寺で行われたときのものです。



2015.12.20

仏教婦人会より

仏婦副会長 溝口紀代子

去る九月十五日（火）、正覚寺で、ご講師に常見寺住職利井唯明師をお招きし、第二十二回島上南組仏教婦人大会並びに物故者追悼法要をお勤めさせていただきました。組長様を始め各寺院のご住職様が出勤され、平成二十四年から三カ年の間に往生されました四十三名の元仏教婦人会会員様の追悼法要をお勤めし、ご講師には「亡き人を偲びつつ」のお題で法話をいただきました。

大会開催にあたり仏教婦人会皆様のご協力に感謝いたします。



組長ごあいさつ

島上南組組長 尾崎貞良

新年、明けましておめでとうございます。

お健やかに新年を迎えられ益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

昨年は島上南組設立五十周年記念誌を発刊し

十一月五日には記念行事を挙行いたしました。大

勢の皆様のご協力、ご参加をいただき島上南組の歴史に新たな記録を残すことができました。その様子を本号の紙面でお知らせいたします。

今後「島上南組だより」で組の行事や組内寺院の活動をお知らせすることによって門信徒、各寺院が情報を共有し島上南組の発展に寄与できれば幸いです。本年もなにとぞ よろしくお願ひ申し上げます。



島上南組

だより

浄土真宗本願寺派
2016年(平成28年)1月
第3号
編集・発行
高槻市大塚町西證寺内
島上南組実践運動委員会

島上南組設立五十周年記念式典を終えて

副組長 本田一成

先般開催されました島上南組設立五十周年記念大会及び祝賀会は、ご来賓をはじめ、

大勢の皆様にご出席いただき、盛会のうちに無事終えることができました。

本大会で掲げましたテーマ「〜想いは今も この地から〜」は、

島上南組設立以来、当組の活動及び組内寺院の護持発展に

ご尽力いただいた方々や、親鸞聖人のみ教えを拠り所としてきた多くの方々の想いを受け止めると共に、その想いを

次代にここから繋げ、広めていきたいとの願いを表したものです。この想いが後世にわたり連綿と続くことを願っています。

最後に本大会を開催するにあたりご尽力いただいた全ての方に改めてお礼申し上げます。





雅亮会



講演会講師 義本弘導師

記念祝賀会



五十周年記念大会



本田、奥野、内本歴代三組長



音楽法要



段野前仏婦会長、岡本前総代会長



記念誌委員長
辻本副組長



大阪教区教務所長
熊谷正明師



仏教婦人会コーラス